

インターネット禁煙マラソン実施中

～禁煙治療保険適用外の方もご参加いただけます～

広島県では、禁煙したい、本数を減らしたいと思っている方を応援しています。
「禁煙宣言1万人」キャンペーン 参加者募集中!
 (県ホームページ)
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/57/kinnensengenichimannnin.html>



② 禁煙してみませんか

がんによる死亡のうち、男性40%、女性5%は「喫煙」が原因であると考えられています。特に肺がんは喫煙との関連が強く、肺がんによる死亡のうち、男性70%、

女性20%は「喫煙」が原因とされています。たばこをやめることにより、がん、循環器疾患(脳卒中、虚血性心疾患)、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病等の予防の推進や健康づくりに、大きな効果が期待できます。

また、禁煙を始めて3日くらいすると体内からニコチンがなくなり、5～10年以上経過すると肺がんなどの危険性がたばこを吸わない人と同じくらいまで低下します。

禁煙治療は、平成18年度から健康保険適用となつていますが、適用条件の一つに「プリンクマン指数が200以上」というものがあります。この条件に該当するのは、例えば「1日10本で20年以上吸っている方」や「1日20本で10年以上吸っている方」など、かなりの喫煙習慣がある方です。(右下枠

見事、禁煙に成功した方には、ささやかですが県から記念品をお贈りしています。(詳しくは県ホームページ参照)

「今度こそ、やめたい!」「何とか本数を減らしたい!」と思っているあなた!!「禁煙宣言1万人」キャンペーンに参加して、禁煙にチャレンジしませんか?

このキャンペーンは、「インターネット禁煙マラソン」というホームページの支援サービスを活用し、参加者に電子メールで6カ月間の禁煙支援を行うもので、禁煙治療が保険適用とならない方にも、気軽に参加いただけます。

広島県では、健康のためにたばこをやめたい人を支援するため、平成24年度から「禁煙宣言1万人」キャンペーンを実施しています。

参考
 広島県では、健康のためにたばこをやめたい人を支援するため、平成24年度から「禁煙宣言1万人」キャンペーンを実施しています。



「インターネット禁煙マラソン」のホームページ

禁煙治療の健康保険適用の条件

【健康保険適用の条件】

- 1.「禁煙治療のための標準手順書」に記載されているニコチン依存症と診断
- 2.プリンクマン指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が200以上
- 3.直ちに禁煙することを希望
- 4.「禁煙治療のための標準手順書」に則った禁煙治療について説明を受け、その禁煙治療を受けることを文書により同意

次回は、たばこを吸わない人の受動喫煙防止対策についてご紹介し

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施中。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

走り続ける 認証施設



② 株式会社 ますやみそ

■業務内容
 当社では、みそ調理みそ調味食品 麹などの製造販売を行っています。みそは世界中で健康食品として注目が集まっています。

豊かで健康的な食生活を世界に提案

安心・安全の商品を消費者の皆さまへ

集まっております。日本をはじめ、世界中の人々に豊かで健康的な食生活を提案しています。

■認証を受けようと思つたきっかけ
 消費者の皆さまに商品をお買い求めいただく

販売店様に納得いただける管理手法の一つとして広島県の認証取得を考えました。

■衛生管理のポイント
 これまで、部署ごとに独立したルールを定めて衛生管理を進めてい



認証日:平成24年5月17日
 所在地:呉市西中央(本社)
 創業:昭和4年4月
 話し手:常務執行役員 生産本部 川野 隆史 氏(左)
 生産部部長 工場長代理 植木 伸一 氏(右)

記事馬場田

インタビュー:石崎

です。

くにあたり、国内の販売はもちろん海外へ展開しようとしたとき、商社や販売店様から衛生管理の状況について聞かれることが多くなつてまいりました。そこで、消費者の皆さまや

ましたが、自主衛生管理認証取得に向けてマニュアルやチェック表等を統一するなど、衛生管理全体の流れを見直し、職場全体の衛生管理意識を向上させることができました。

■消費者へのアピール
 メーカー責任として、安心・安全の商品を消費者の皆さまへお届け

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんがあります。子宮がんの中で、子宮頸がんが占める割合は70%近くですが、近年、子宮体がんが全ての年齢層で増加傾向にあります。今回は子宮頸がん検査についてお話をさせていただきます。



を押さえて、子宮の天井を触ります。この両手の間隔で、大体の子宮の大きさや、子宮の動きやすさを確認したり、左右の卵巣が腫れていないかも観察します。

子宮頸がんは、子宮の入口である頸部の上皮(表面の細胞)に発生するがんのことをいいます。子宮頸がんの発生率は、50歳以上

前がん病変をみつけよう 定期的な検診で子宮がんを減らそう

の中高年齢層では減ってきていますが、逆に20～29歳では急激に増加しています。これは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関与しており、性活動が活発な若い年代での感染機会が増えているためだと考えられます。

*HPV:性交渉で感染することが知られているウイルス

子宮頸がんの検診では、主に3種類の検査があります。1つ目は内診検査です。片方の手の指を膣の中に入れて子宮の出口を確認し、もう片方の手で

2つ目は子宮頸部細胞診検査です。子宮頸部や膣部の表面粘膜を綿棒や、ブラシなどでこすって細胞を採取し、顕微鏡で観察します。細胞診を行うことで、がんになる前の段階から診断することができます。

3つ目は経膣超音波(エコー)検査です。超音波器具を膣内に挿入して、子宮頸がんや子宮体がんだけでなく、子宮筋腫の有無、卵巣嚢腫なども一緒に見ることができます。X線を使用しないので、妊娠中の方や妊娠の可能性のある方も検査が可能です。また、卵巣の状態も分かるこの検査は、卵巣がんの検診も兼ねています。

子宮頸がんは、定期的な検診によってがんになる前の状態(前がん病変)を発見することができ、がんになる前に治療が可能な病気です。検診を欠かさず受けるようにしましょう。

(ドック課 小川 輝子)

